



運転マニュアル

Instruction Manual

JR東日本トレインシミュレータ 監修：東日本旅客鉄道株式会社 / 制作：株式会社音楽館

Copyright © East Japan Railway Company / ONGAKUKAN Co., Ltd. All Rights Reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>).

JR東日本トレインシミュレータについて

鉄道運転シミュレータで豊富な実績のある音楽館とJR東日本がタッグを組んでお届け。実際にJR東日本の運転士が訓練で使用している業務用シミュレータをご家庭で体験いただけます。

特徴

- JR東日本の路線を実写で撮影し高精細映像で楽しめます。運転士と同じ目線で運転をすることができます。
- シミュレータで発せられる車両や線路からの音は、JR東日本で実際の車両を用いて収録したものを使用しており、運転士が運転しても違和感のない、リアルな走行音を体感できます。
- 計器パネルには速度計などが実際の車両と同じように表示され、運転操作や速度などに応じて忠実に動作します。音声や計器パネルの表示は、体験する車両の形式が変わるとその車両のものに切り替わります。



1 路線と駅の選択

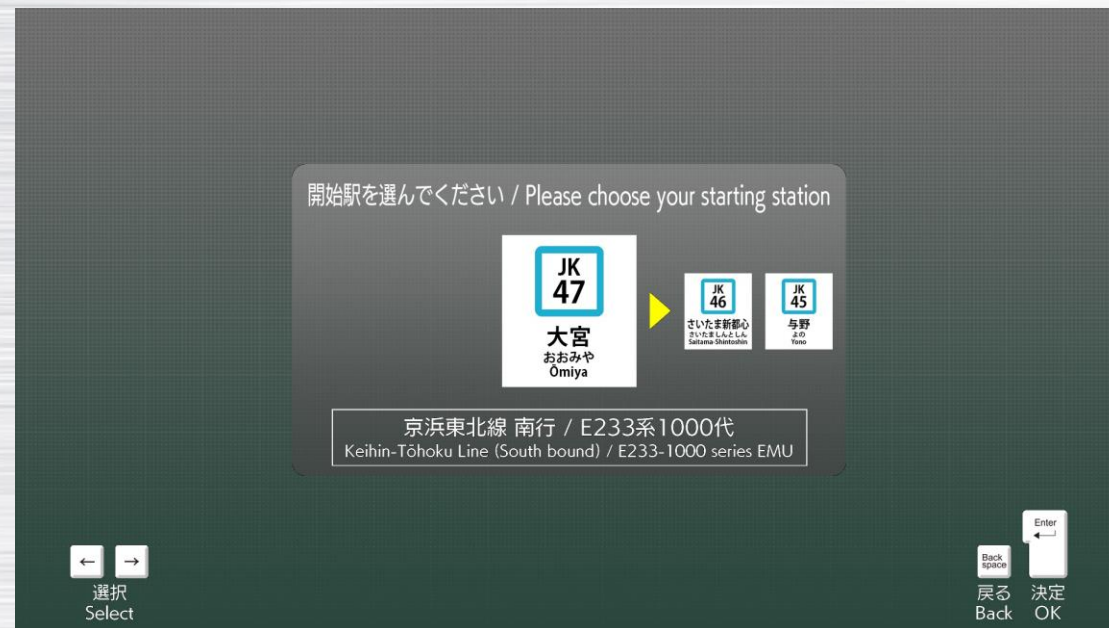
Line and station selection

- ① メニュー画面から路線を選択し、決定します。
- ② 続いて、運転を開始する駅を選択し、決定します。



メニュー画面

(選択されている路線に黄色の枠が表示されます)



駅選択画面

レベル選択画面でレベルを選択し、決定します。



初級

運転中に操作ガイドと次駅までの距離や時間が表示されます。
駅では停止位置の前後5メートル以内に停車しましょう。

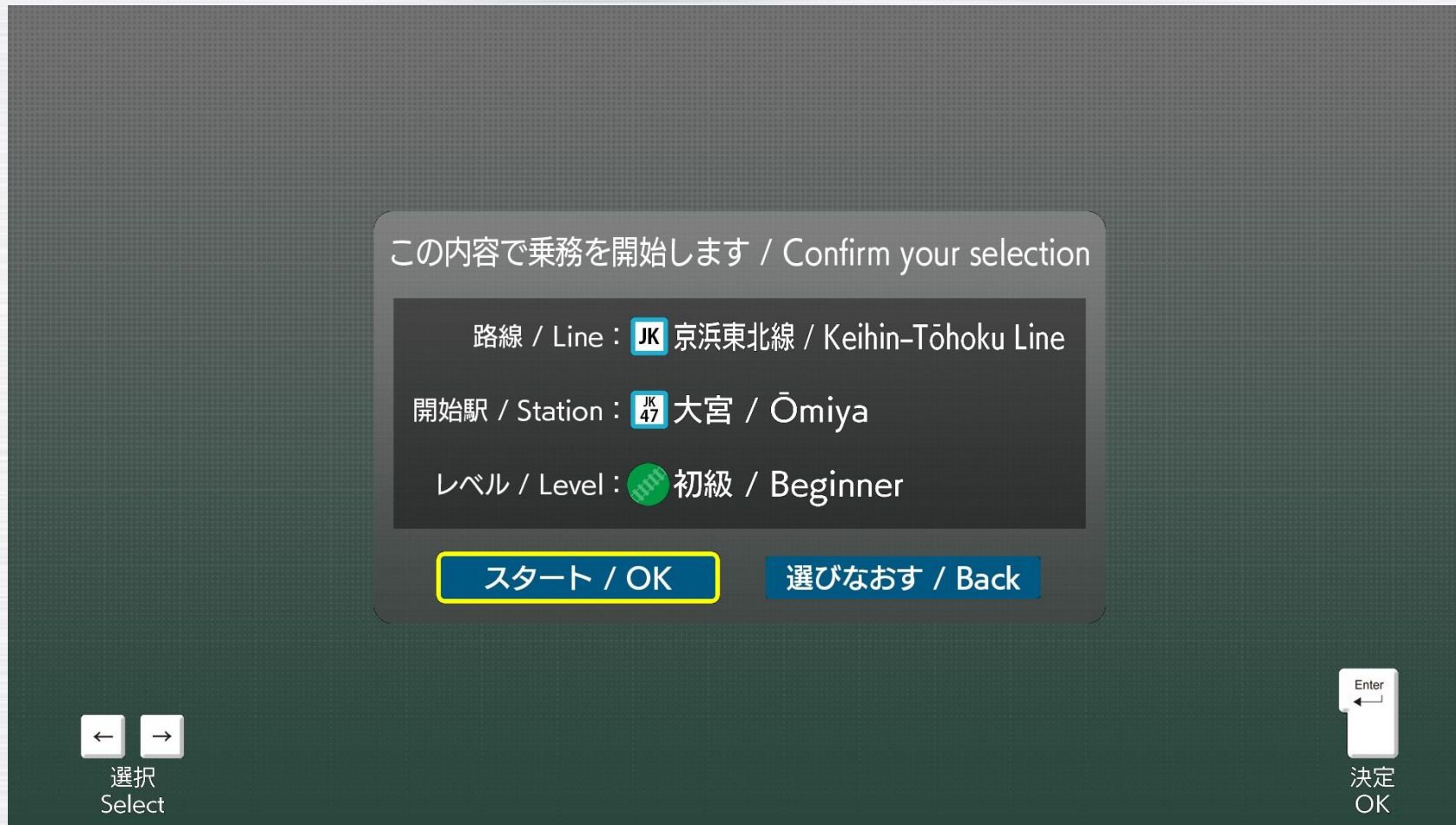
中級

次駅までの距離や時間が表示されます。
駅では停止位置の前後3メートル以内に停車しましょう。

上級

画面上の表示は無く、本物の運転士のような運転を体験できます。
駅では停止位置の前後1メートル以内に停車し、行き過ぎた場合は停止位置を戻しましょう。

選択した内容を確認します。決定ボタンを押すと、運転が開始します。



駅に停車中の状態から運転が開始します。

20～30秒後、ドアが閉まると発車できるようになります。



運転情報表示 (HUD)

ダイヤ上の時刻や停止位置までの距離などが表示されます。

一番下の数字は現在走行している地点の勾配の角度を示します。(マイナスは下り坂を示します)

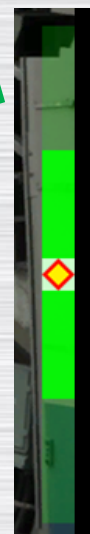
「V」キーで表示/非表示の切替が可能です。

停止位置サイン

駅に進入すると表示されます。

自列車の位置をひし形のマークで示しており、停止位置が近づくと画面の上から現れます。

緑色のバーの中央が所定の停止位置です。



「C」キーを押すと、運転台表示を簡易、無しに切り替えることができます。

5

運転台表示

Driver Console

運転台の計器や表示灯類を実際の車両と同じように表示します。
車種が替わると、運転台表示もその車種のものに切り替わります。
停車駅ではドアが開いていると「知らせ灯」が消灯し、閉まると点灯します。



京浜東北線
(E233系電車)



八高線
(キハ110系気動車)

知らせ灯

駅停車時、ドアが閉まると「知らせ灯」が点灯します。
(気動車の場合は、続いて車掌からの発車合図のブザー音が鳴ります。)
それを受けて、列車を加速させて発車します。



初級では、知らせ灯が点灯しても発車しなかった場合、操作ガイドが表示されます。

列車を発車させ、次の駅まで走行します。

- ・ 信号や制限速度で定められた速度を超えると、自動的に減速します。
- ・ **走行中に1分間操作を行わなかった場合、ブザー音が鳴ります。**
その後5秒以内に何かの操作（EBリセットボタンを押す、警笛を鳴らすなど）を行わなかった場合、運転士が気を失ったと判断されて、自動的に非常ブレーキが動作します。
- ・ 自動的に非常ブレーキが動作した場合は、ブレーキを「非常」に入れてから緩めると、非常ブレーキが解除されます。



京浜東北線は線路に信号がありません。
速度計に黄色の三角で制限速度が示されます。

次の駅の所定の停止位置を目指して停車させます。

初級では5メートル、中級では3メートル、上級では1メートル以内に停車すると、ドアが開きます。

停止位置を行き過ぎた場合は、初級・中級では自動的に所定の停止位置に戻ります。上級では、停止位置まで列車を後退させます。



初級・中級では、停止位置を行き過ぎた場合、自動的に位置が戻ります。

ポーズ

運転中に「P」キーを押すと運転が一時停止し、もう一度押すと運転に戻ります。

運転を終了する

最終駅に到着すると、運転が終了してメニュー画面に戻ります。
また、運転中に「Esc」キーを押すと運転を中断して最初の画面（メニュー画面）に戻ります。



ポーズ画面

マウスでの操作

ブレーキを強める／弱める・・・・・・・・・・ホイール↑／ホイール↓
 加速を強める／弱める・・・・・・・・・・ホイール↓／ホイール↑
 ブレーキ・加速ゼロ（惰性で走る）・・・・・・・・・・ホイールをクリック

キーボードでの操作

・1ハンドル車（E233-1000代）の運転

非常ブレーキ・・・・・・・・・・・・・・・・「1」
 ブレーキを強める／加速を弱める・・・・・・「Q」
 ブレーキ・加速ゼロ（惰性で走る）・・・・・・「S」
 ブレーキを弱める／加速を強める・・・・・・「Z」

・そのほかの操作

レバーサ（逆転器） 前／後・・・・・・・・「↑」／「↓」
 EBリセットスイッチ・・・・・・・・・・「E」
 警笛（1段目）・・・・・・・・・・「Enter」／「BackSpace」
 警笛（2段目）・・・・・・・・・・「BackSpace」 ※2段目がある車両のみ
 運転台表示切替・・・・・・・・・・「C」
 運転情報表示（HUD）表示／非表示・・・・「V」
 ポーズ（一時停止）・・・・・・・・・・「P」
 最初の画面（メニュー画面）に戻る・・・・「Esc」

・2ハンドル車（キハ110系）の運転

非常ブレーキ・・・・・・・・・・・・・・・・「/」
 ブレーキを強める・・・・・・・・・・「.」
 ブレーキを弱める・・・・・・・・・・「,」
 ブレーキゼロ・・・・・・・・・・「M」
 加速を強める・・・・・・・・・・「Z」
 加速を弱める・・・・・・・・・・「A」
 加速ゼロ・・・・・・・・・・「S」

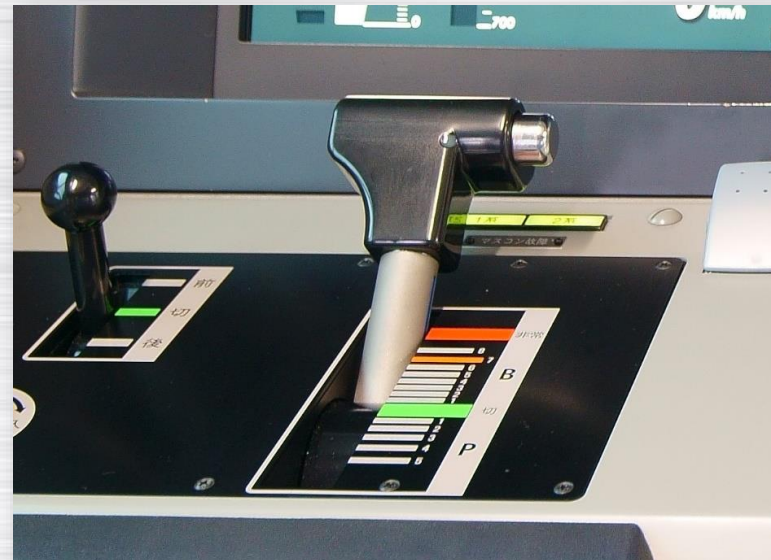


E233系は2006年に登場した一般形直流電車で、1000番台は京浜東北線用に開発された車両です。

主要機器を二重系化し、一つが故障しても通常走行を可能として信頼性を向上。女性専用車や優先席部分の荷棚・吊り手高さの低減、優先席エリアの明確化等のユニバーサルデザインを多く採用しています。

マスコンハンドルは1ハンドルタイプで、運転士は列車の加速と減速を左手のハンドルで行います。

保安装置はD-ATCを搭載、信号は運転席の速度計に表示されます。そのため、京浜東北線では地上に信号機が設置されていません。





ローカル線のサービス改善を図るため、JR東日本が開発して1990年に登場した気動車。

車体の長さ、両運転台または片運転台などで多彩な車両があり、路線条件に応じて使われています。電車並みの加速性能を持っているため、ローカル線のスピードアップに大きく寄与しました。

マスコンハンドルは2ハンドルタイプで、運転士は列車の加速を左手、減速を右手のハンドルで行います。

八高線用の車両は保安装置としてATS-Pを搭載。地上の信号機を確認しながら運転します。

変速機は、変速、直結1速、直結2速の3段切換になっています。切換は速度を検出して自動で行われ、約50km/hと約70km/hでエンジン音も切り換わります。

